

トラック架装メーカーがキャンピングカー製作始めました(続)



脱着式シェルの軽トラックキャンピングカー試作完成より、約1年半が過ぎました。

実際に走行テスト、耐候テストを実施し、問題点の洗い出しを行いました。

それを踏まえた上で、

試作2号機の製作を行いました！！

試作2号機は1号機と違う特色を

試作1号機はとにかく箱のサイズを規格最大限に製作しました。

メリットとしてはもちろん・・・広いですが・・・故にデメリットが・・・

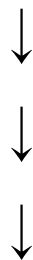
- ①重い(箱重量約210kg)
- ②車高が高いことにより走行時に風の抵抗をもろに受ける(走行性能ダウン)
- ③立体駐車場等、駐車スペースの高さ制限に引っかかる

もちろん箱内空間が広いにこしたことはありませんが、軽トラック本来のメリットを損なわず

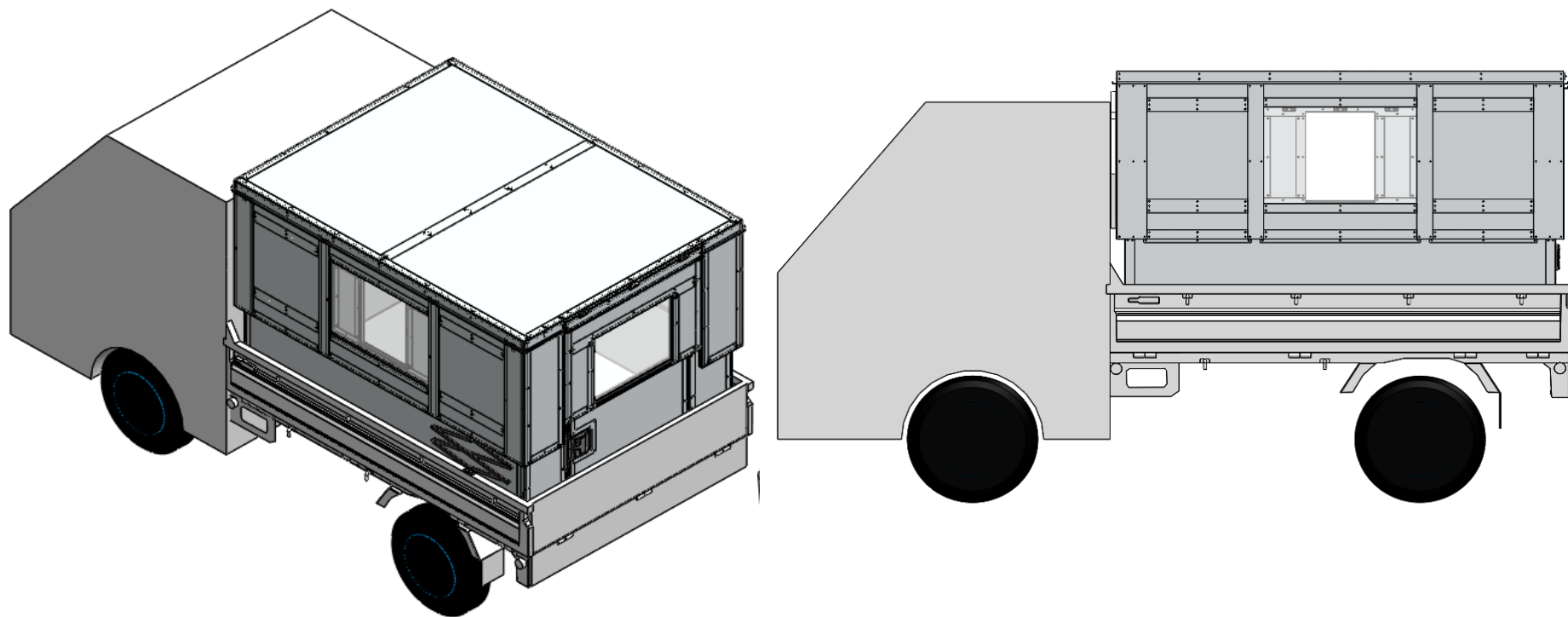
なおかつ、ある程度の箱内空間を維持できないかを念頭に試作2号機の製作を開始しました。

試作2号機設計開始！！

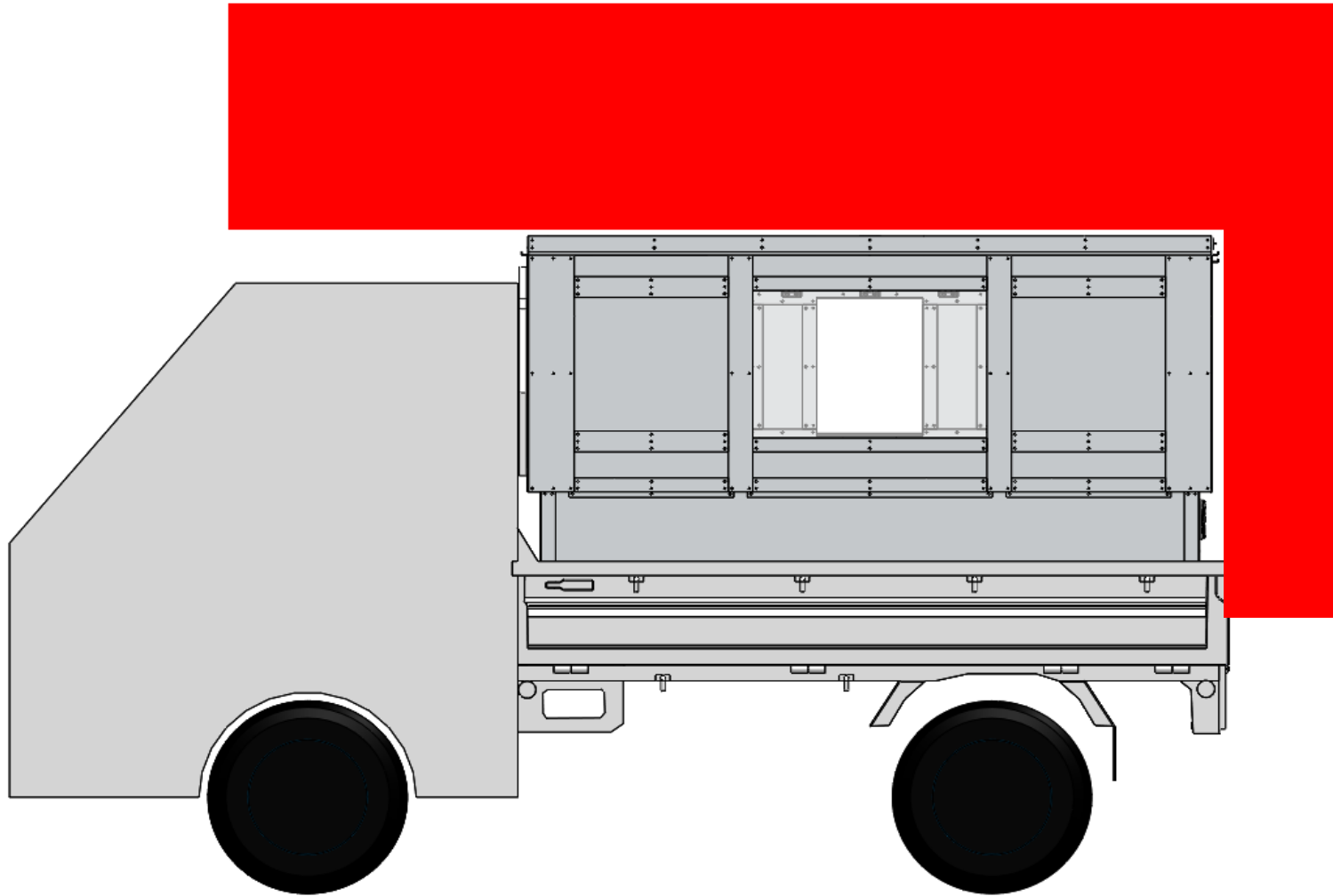
箱内空間の維持・走行性能の維持・駐車スペース問題解消・・・



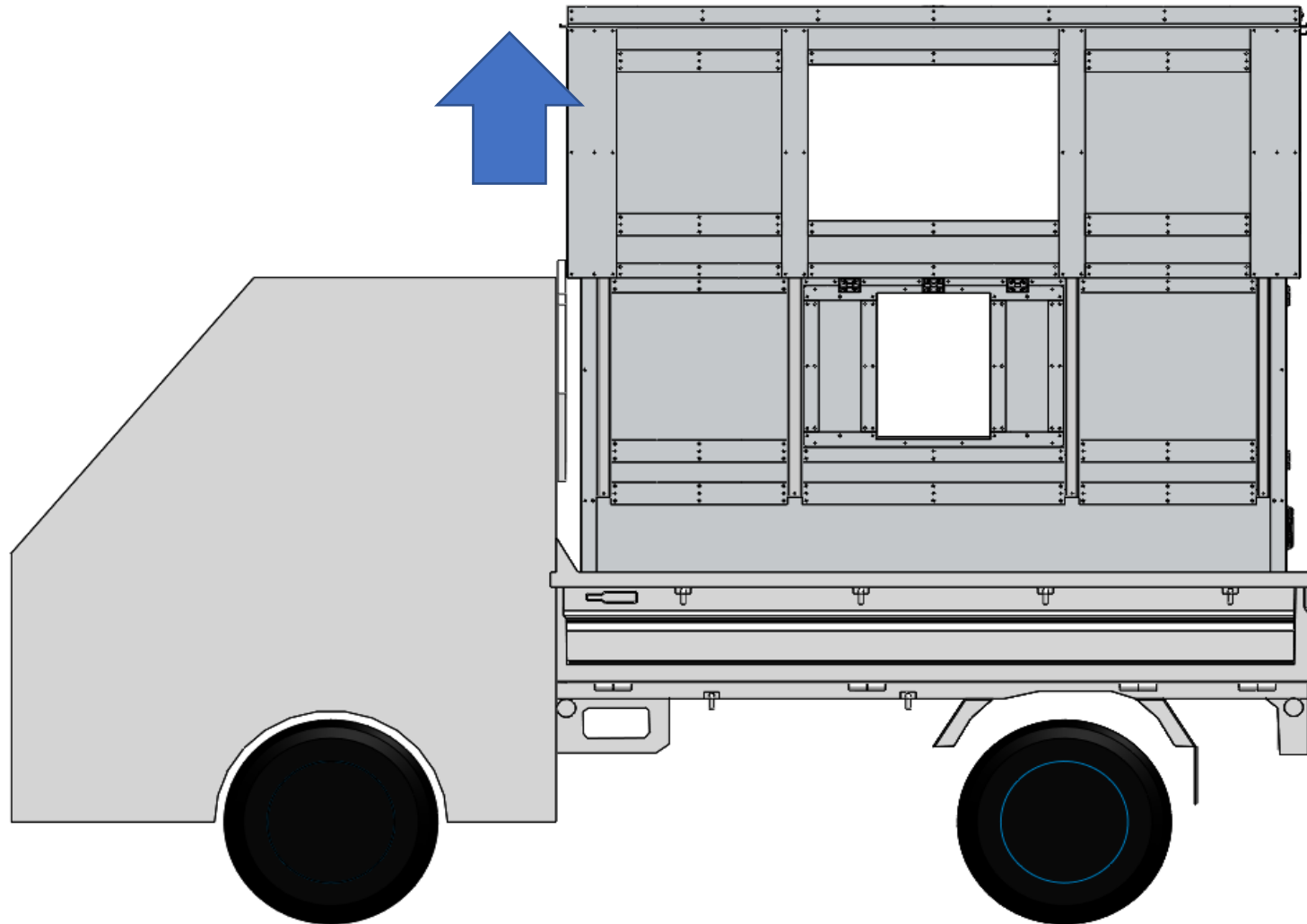
構想完了？



確かに走行性能の維持と駐車場のスペース問題は解消されますが・・・小さくなりすぎ！！



安心して下さい 上に伸びます！！



走行中は天井を低くし、停車時の空間利用時は天井をアップします。

サイズ比較

試作1号車 箱内寸法、重量

内長：2,140mm(床)~2,940mm(天井)

内幅：1,200mm(床)~1,400mm(天井)

内高：1,740mm

箱重量：210kg

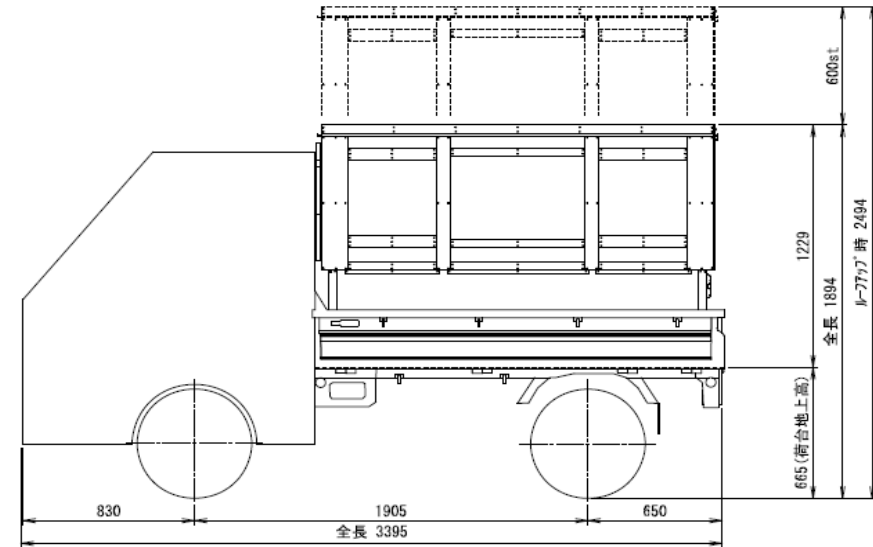
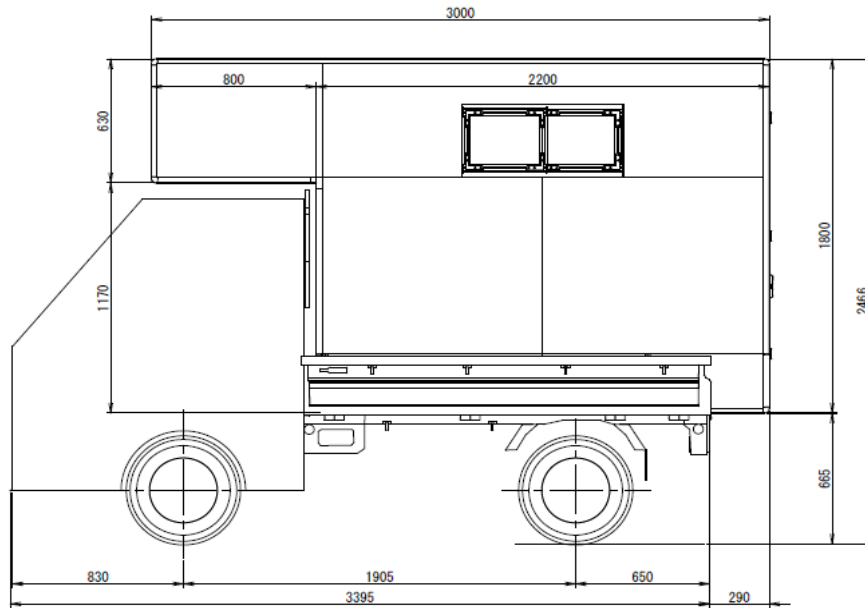
試作2号車 箱内寸法、重量

内長：1,790mm

内幅：1,328mm

内高：1,180mm(走行時)~1,780mm(天井アップ)

箱重量：150kg



2号機完成！！(製作過程省略)



走行時Ver



天井アップなしでも
中に入れます。
(ちょっとした休憩に)



停車時Ver
(天井アップ)



脱着Ver



ほんの少しだけ改善
(キャスター付き
箱のみ移動可能)



エントランスドア

側面跳ね上げトピラ
(両面)

今回は軽トラ走行性能維持バージョンで2号機を製作しました。

1号機同様にテストを行いさらに性能を高めて参ります。